

# I 廃墟となつた都市

終戦を迎えた後も、国内各地には空襲によって廃墟となった都市の瓦礫がしばらくの間放置されたままとなっていた。また、呉などのかつての軍港では大破した艦艇などの兵器類の残骸が数多く見られた。人びとはこのような廃墟の中で生活しながら、虚脱状態から立ち上がり、復旧にむけて一歩を踏み出していった。



## 廃墟となった東京

空爆で廃墟となった東京銀座の通りを歩く人びと。背後の建物は三越デパート。

- 撮影地 東京 銀座
- 昭和20年9月9日

## 瓦礫の中から物を探す母子

瓦礫の中から物を探す母子。左はトタンで作った掘建て小屋。後方は生命保険会社の仙台支店「仙台日本生命館」。

- 撮影地 仙台市
- 昭和20年9月18日



## 空襲で大破した軍艦

空襲で大きな被害を受け、浸水着底した巡洋艦「青葉」。その後、播磨造船所において解体された。呉をはじめ、横須賀や佐世保等の旧軍港の近くにはこうした残骸が残っていた。

- 撮影地 広島 呉
- 昭和20年10月14日